

ございます

年頭にあたり



町民の皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことに心からお慶び申し上げます。

昨年をふりかえり、私の役割は町民皆様の思いを汲み上げ、町政に反映することであるとの考えのもと、必要なことは適宜取り組み、皆様にお示したことは着実に実行して参りました。今年も「町民参画と協働の精神」のもと「住んでみたい・住み続けたい」まちづくりに向け邁進して参ります。

さて、世界経済は、欧州債務危機以降いまだ不安定な状況にあり、アジアにおいてはフィリピンの台風被害、尖閣諸島をめぐる中国との摩擦等によりわが国の産業に大きな影響を及ぼしました。

国内に目を向けますと、アベノミクスに象徴されますように自民党への政権交代による期待感から経済好転へのきざしが見えはじめているものの、消費税の引き上げ等を控え、経済動向は依然として不透明と言わざるを得ない状況であります。地方においてはこのような状況を踏まえ、情勢の変化に俊敏に対応し、さらに選択と集中のもと、効率的で質の高い行政運営に努めていかなければならないと考えております。

このような中であって本町では、総合計画後期基本計画の柱である「安心・安全」、「活力のある」、「協働・自立」の3つの基本理念をキーワードに、積極的に施策に取り組んでまいります。

まず、「安心・安全」においては、私の公約でもあり、長年の懸案でもあります「防災行政無線整備事業」に取り組めます。火災情報や風水害・地震など、住民に重大な影響のある緊急情報を一斉に伝達することにより、町民等の生命、身体及び財産を守るとともに生活支援情報の提供を行って参ります。

子育て・教育環境の充実では、安心して子育てできる環境づくりとして、引き続き「子育て支援センター」を効果的に活用するなど、地域の子育て支援活動の充実にも努めます。併せて、安心して妊娠・出産できる環境を整備するため、医療機関等と連携しながら、妊婦検診・不妊治療など、安心して子どもを産み育てることができ環境の整備に努めて参ります。さらに、高齢者への支援としまして、高齢者インフルエンザの予防接種助成に加え、新たに、高齢者の肺炎球菌予防接種費用の助成を行います。

「活力のある」においては、町の魅力の向上と交流人口を増やすこととし、特に、地域の活性化や町民の交流を図るため、観光スポット事業として実施しております「かみのかわサンフラワーまつり」で、ひまわりを通じて地域づくりを行っている「野木町」、「益子町」と共同連携し、特産品等の相互販売をするなどの取り組みについて研究を進めて参ります。

「協働・自立」においては、行政改革大綱(第4期)、集中改革プラン(第2期)計画及び「上三川町財政適正化計画(H24年~26年)」に基づき事務事業の整理見直しや経常経費の縮減等に取り組み、将来を見据えた持続可能な財政運営の確立を目指して参ります。

今年は、先人たちが築き上げた上三川を、将来にわたって揺るぎ無い存在感を示し、輝き続ける「上三川町」とするため、「第6次総合計画」の求める都市像である、「より安心・安全で活力のあるまち 上三川」の実現に向けて、本年も全身全霊を込め、職員一丸となって町政に取り組んで参りますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、平成26年が町民の皆様にとりまして、希望に満ち溢れた年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



上三川町長
ほしのみつとし
星野光利

あけまして おめでとう

新年明けましておめでとうございます。

上三川町議会議長の隅内でございます。輝かしい新年を町民の皆様とともに迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

年頭に当たり、上三川町議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より、町政に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年、2020年の夏季五輪・パラリンピックの開催が東京に決まりました。このことは景気回復や日本経済の再生という観点からも大きな役割を果たすものと確信しています。また、今年の4月から消費税が8%に引き上げられます。増税によって、社会保障の持続の可能性は高まります。財政を健全化し、その結果、国民、とりわけ若い世代が抱く将来への不安をやわらぐものと期待するものです。ただ、大詰めを迎えた環太平洋経済連携協定(TPP)で日本は厳しい状況にあります。福島第一原発の汚染水漏れについても深刻化の一途にあります。

上三川町の現状はといいますと、少子高齢化への対策、産業の振興、商店街の活性化などの課題を抱えております。議会の果たすべき役割としては、条例の制定・改廃及び予算案などの議決のほか、執行部を監視・チェックすること、議員自らが政策を提言することなど、町民の代表として町民皆さんの声を行政に反映させることであります。常に皆さんとの対話を重ねて皆さんの悩みと声を汲み取りながら議論を重ね、福祉の向上と地域社会の活力ある発展を目指します。

地方分権改革が進捗の過程にあるなか道州制の導入に向けた議論も行われようとしています。上三川町議会としてもこれからの時代にふさわしい議会を目指すため、昨年に引き続き、議会基本条例の研究、議会情報の公開、公聴のあり方、議員の倫理など議会活性化に向けた議論を重ね、町民から信頼され開かれた議会を目指しております。

新たな年を迎え、私ども16名の議員は上三川町民の代表として、二元代表制の下、その役割と責任の重さを自覚し、町民31,500名の幸せのため全力を尽くしてまいりますので、町議会へのさらなるご支援をお願い申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。



上三川町議会議長
すみ うち まさ み
隅 内 正 美

